

高校生と地域社会の連携が深まり、未来を共創する機運が芽生えた

蒜山ミライ会議

活動の目的

蒜山地域は県内第2位の観光地でありながら、若年層を中心とした人口流出が止まらない。こうした現状の中、地域の持続発展性を回復させるために、地域・行政・高校の連携を強化し、目の前にある課題を「自分事」として捉えることができる人材を育成する。さらに、真摯な高校生の姿を「見てもらう」ことで、大人たちに「既存の枠を破る」勇気をもたらす。

活動の内容及び経過

4～6月

フィールドワークを通じた課題発見と地域理解の深化。

7～11月

- ・「香り」による地域活性化を目指す「Project 蒜香」スタート。
- ・中学生とも協働し、自然環境と地域の伝統的建築について考える「茅刈り」を企画。

12月～1月

- ・地域との意見交換会「蒜山ミライ会議」の開催と準備。

2～3月

- ・活動の振り返りとまとめ、次年度への接続。

活動の成果・効果

- ・「Project 蒜香」として、地域の果樹園の林檎の剪定枝や笹などを原料としたお香と、これも地域の山野に自生するクロモジ、畑のセロリなどから蒸留したアロマウォーターを作成し、令和4年2月23日に行われた地域のイベント「湯原ししマルシェ」への出品を果たした。
- ・お香やアロマウォーターの開発に際しては、地域の専門の方々から継続的に幅広いご助言とご指導を頂き、商品化への一歩を踏み出すことができた。
- ・令和4年1月29日「ミライ会議」において高校生から発せられた、「地域の未来を担う『次世代』とは、若者だけでなく全ての地域住民です。」という言葉が、地域の「空気感」を変えた。

今後の課題と問題点

- ・地域と高校生との協働を通して持続発展可能な社会を構築する、という当初の目的について、この活動に関わった高校生たちの中から、「将来は地域活性化に関わる仕事に就きたい」という進路希望が生まれてくるなど、ある程度の成果が得られたと考えられる。
- ・活動にご協力を頂いた地域の方々、茅刈りで協働を図った中学生からは、「地域での活動が活発である」「高校生が楽しそうな学校」という、蒜山校地に対する肯定的・



蒜山ミライ会議①



蒜山ミライ会議②



「Project 蒜香」お香班開発中



「Project 蒜香」アロマウォーター開発中

好意的な評価が聞かれるようになった。

- ・コロナ禍の影響も大きかったが、協働して地域の未来を拓く、という地域全体の意識改革という部分では、未だ途上にある。「高校生に何ができるのか」「高校生として地域の中で何をすべきなのか」「地域の未来がどこにあるのか」等について、活動を共にしながら、本音をぶつけ合う場が必要である。

- 代表者：内田浩文 ●所在地：真庭市蒜山上長田
- TEL：0867-66-2016
- E-MAIL：hirofumi_uchida@pref.okayama.jp
- 設立年：2020年 ●メンバー数：20名